

□ 10月19日説教(元 正章 益田教会牧師)短縮版「つぐない」(ルカ6:37-42)

今の世の中、取引(ディール)とか関税とか、とにかく自分第一主義の考えが幅を利かせていますが、それで金や物は動いても、人の心を動かすことはできません。また、一度犯した過去の過ちや罪は取り返しはできませんが、つぐなうことはできます。それを完全にはできなくとも、その過ちや罪に縛られずに、新たな一步を歩むことはできるのです。心から謝るのであれば、それは必ず相手にも伝わるのです。受け入れてもらえるのです。そうなることで、あのとき味わった悲しみから立ち直ることができるのです。そこにこそ、神さまの目に見えない働きがあるのです。

「人を裁くな。そうすれば、あなたがたも裁かれることがない。人を罪人だと決めるな。そうすれば、あなたがたも罪人だと決められることがない。赦しなさい。そうすれば、あなたがたも赦される。与えなさい。そうすれば、あなたがたにも与えられる。」

「人を裁くな」とは、自分が中心となって判断するのではなく、神の裁きに委ねることです。それができる人は、幸いです。

「だから、すべて人を裁く者よ、弁解の余地はない。あなたは、他人を裁きながら、実は自分自身を罪に定めている。あなたも人を裁いて、同じことをしているからです」(ロマ書2:1)。(終)